

第3回 南砺市環境審議会 会議録			
日時	平成24年8月9日(木) 9:30~12:00	場所	南砺市井波庁舎 3階多目的ホール
出席者	①南砺市環境審議会委員 : 安田会長、浦出委員、堀委員、奥野委員、横川委員、蓑口委員、長谷川委員、江田委員、水口委員、杉森委員 10名 (欠席者: 松本委員、中島委員 2名) ②民生部長(三谷部長) ③事務局 : 表課長、横井副主幹 2名 ④委託業者: (株)中部設計 3名		
配布資料	①第3回南砺市環境審議会 会議次第 ②第3回南砺市環境審議会 座席表 ③南砺市環境審議会委員名簿(平成24年8月9日現在) ④資料1. 工程表(案) ※修正版 ⑤資料2. 昨年度の「南砺市環境基本計画基礎調査報告書」の要約版 ⑥資料3. 南砺市環境基本計画(骨子案) ⑦資料4. 第4回市民WG会議で寄せられた意見について ⑧資料5. 南砺市環境基本計画骨子案についての意見書(様式)		
番号	議事内容		
1	1. 開会 ・事務局から、開会の挨拶を行った。		
2	2. 会長あいさつ ・会長から、開会の挨拶を行った。 ・事務局から、県の人事異動に伴う委員の交代(折谷委員→堀委員)があったことを報告した。		
3	3. 第2回審議会の会議録について ・事務局から、第2回審議会の内容を確認するため、以前に配布した会議録に記入漏れや誤記がないかを諮った。委員からは特に相違の意見はなく、会議録の承認を得た。 ・事務局から、情報公開の観点で会議録を市のホームページで公開することを報告した。 ・委員から、前回審議会以降に寄せられた意見の内容が骨子案に盛り込まれているかとの質問があり、事務局から盛り込めるところは盛り込んでいることを説明した。		
4	4. 今後の予定(工程表)について ・事務局[委託業者](以下、事[委]という。)から、当審議会長との協議を踏まえて、工程表の一部を変更させたことを説明し、委員からの承認を得た。変更点は以下のとおり。 (1)環境審議会の開催回数を1回増やし、計5回から計6回とすること。 (第4回で計画素案の審議、第5回で計画案の審議、第6回で答申案の審議を予定) (2)市民ワーキンググループ会議(以下、「市民WG会議」という。)の開催回数を1回増やし、計4回から計5回とすること。(第4回までは開催済み)		
5	5. 南砺市環境基本計画(骨子案)について ・事[委]から、骨子案の内容を説明した。説明した内容は以下のとおり。 (1)基本計画の目次案について (2)計画の基本的な考え方について (3)環境像 ^{*1} について (4)基本目標 ^{*1} について (5)施策の大綱 ^{*1} について		
	^{*1} 第4回市民WG会議で寄せられた意見の報告を含む。		

6 6. 議事

会長による司会進行で、委員に議事（①環境像、②基本目標、③施策の大綱、④その他）を諮ったところ、以下の意見が寄せられた。

(1) 環境像に関する意見

発言者	内 容
会長	<p>それでは、お手元の会議次第に従って議事を進めさせていただく。まずは、骨子案でも重要な部分になりそうなものとして、最初に環境像、次いで基本目標、施策の大綱の順で、みなさんから意見をいただきたい。それ以外のお気づきの点は、最後のその他でお話しいただく時間を設けようと思っているので、まずは環境像について、骨子案の他、資料4にある候補案の内容も含めて、みなさんのご意見やご質問をどうぞ。</p>
委員	<p>大変な労作だとは思いますが、もっと市民の共感が得られるような、例えば、南砺市ならではの、南砺市にしか使えないような言葉を使うとよいと思う。こどもやお母さん、高齢者にも分かるようなフレーズがあると展開がしやすくなるし、概要版もつくりやすいのでは。総合計画の「さきがけて緑の里から世界へ」でも、制作過程で南砺市らしさを出すのに随分とご苦労があったようだが、結局は歯切れの良さとか、リズム感といった一種の視覚言語がよいということで、このフレーズが採用された経緯がある。例えば、廃屋がある、屋敷林の手入れが行き届かない、山間部に不法投棄がある、そういうのは気持ちがよくないことだし、それをなんとかしようというのがこの計画な訳だから、そういう意味で、例えば「南砺」を平仮名にして、「なんと気持ちいい里」とかね、水泳の北島選手の「超気持ちいい～」のように、そういう感覚的に伝わるような言葉として「なんと」をうまくひっかけるアイデアもある。歯切れが良くて、響きが日本人の心に伝わる、そういう環境像であれば、例えば、こども達に環境像をテーマに作文を作ってもらったりとか、絵を描いてもらったりとか、グリーンツーリズムで全国から南砺市に農業体験や山村体験に来てくださいますよと呼びかけるときにも、役立てられる訳だし。やはり、総合計画のフレーズと並べて使えるような雰囲気の方がいいのかな。この計画は、総合計画の各論になる計画だから。そういう南砺市らしさが環境像には求められているような気がする。</p>
会長	<p>「なんと気持ちいい里」ですね。</p>
委員	<p>候補案の一つに「結」を用いているが、この「結」は山間部で使われていると思うが、平野部ではどういう風に解釈すればよいのか、扱いが非常に難しい言葉になるように思うが。</p>
委員	<p>文化人類学や民族学だと、「結」は地域共同体、特に自然環境の厳しいところでは、助け合わないと生きていけないので、一種の強制を含んだ制度として用いられてきた。このため、山間部に住まいのある人や70歳以上の人達にとっては、暮らしむきの中で仕方なく「結」をしてきたので、響きがよくない。ところが、今の若い人達の間では「結」という字そのもののイメージからとてもよい印象を受けていて、プラス思考で捉えられている。そのギャップをどう判断していくかということが難しい。</p>

6

発言者	内 容
委員	昔の話になるが、「結」の捉え方は、一つ間違えると潰し合いになったり、参加しないといわゆる村八分になるという、非常に危険な思想も含まれていたのでは。今の考え方では「結」は仲良く、みんな助け合いでやりましょうになるのだろうが、昔の「結」は村から出さないようにして、強制的にみんな協力せんといかんというのが根底にあるから、環境像としてはしっくりする言葉ではないと思う。もっと柔らかい、これからの言葉に置き換えた方がよい感じがする。
委員	昔の「結」の煩わしさから逃れたいから、都会に行く。村社会での「結」はマイナス要素の方が大きい。やっぱり柔らかい言葉の方がよい。ハートに響くような言葉が。視覚言語化してほしいなど。あれもこれもみんな正確に盛り込んで表現しようとする、環境像がどんどん長くなってしまうので簡潔にする。説明は各論できちんとすればよいのでは。
委員	同感です。以前、介護と健康の冊子を制作した時に「なんとすこやか なんと安心」という題目をつけたことがある。
委員	南砺という言葉は、使い方によって、本当にうまいゴロ合わせができそうだ。
委員	同感です。骨子案の基本目標はすっきりとした印象なのに、環境像だけがちょっと古びた、オーソドックスなものに感じていたので。「結」はしっくりこないが、人のつながりを大事にしていきたいのなら、例えば「縁」を使うのがよいのではという感じでみていた。南砺市に来訪した方に何が一番綺麗？と聞くと、風の音とか、水の音とか、緑とか。そういうフレーズがまず使われる。その後に南砺の人はとてもよい方ばかりねとくる。この自然環境をこれ以上に悪くしないように、もっともっとお互いに気をつけ合いましょう、という考えが環境像に入っていれば、ありがたいと思う。
会長	これまでの意見をうかがうと、環境像には「結」を使わない方がよさそうだということ、それから、「なんと気持ちいい里」という代替案、「緑の里」を用いた方がよいという意見もあるので、「なんと気持ちいい緑の里」という感じではどうか。
委員	市民に募集する方法もある。例えばぐらいの。サンプルという感じで。
委員	婦人会の活動を共通認識にするための合言葉として用いているのが「次代に残そう 緑の里と人のやさしさ」で、それとなくほんわかと伝わればいいなあということ使っている。
委員	なんか人間の顔がみえる、生活感がみえるような言葉がよい。
委員	総合計画でも他の場所でもいろいろと「結」が使われている。あえて、環境像に「結」を残すとすれば、最初に過去にあった「結」のことを注釈等で触れておき、その上でこれからは人の繋がりをもっと強めていこうという意味合いで、将来への繋がりをイメージさせるような形で使う必要があるのかも知れない。今のままだと、「結」は年代や地域によって意味合いが異なるようなので。あえて、昔の辛さを出した上で、将来を見据えた新たな「結」を表現するという。ところで、先程の代替案のヒントを得て、例えば「なんと気持ちいい自然と文化の里」のいうのはどうか。自然と文化は、南砺市の大事なキーワードでもあるので。

6

発言者	内 容
委員	ただ、自然と文化は日本中にあるから。その意味合いを別の言葉で置き換えられないかなと思う。短くてスパッと切れ味のよい表現の方が覚えやすい。いろんな候補案を出した方がよい。この種の言葉は、よく用いられる言葉を出来るだけ避けた方が新鮮にうつる。それに日本語には、とても美しく、ハートに響く言葉が結構あるような気がしているので。南砺らしく、かつ、あまり長くない方がよいと思う。
委員	関心を持ってもらえる意味でも、募集をした方がよいのかもしれない。
部長	総合計画の都市将来像は、俳句のような感じで、なんとなくゴロがよいという部分があるので、そのような感じで定める方法もあるのかもしれない。
会長	いろいろとご意見をいただいたが、環境像の決定はそう急ぐ話でもないので、公募はできないか。
委員	あるいはこの審議会や市民WG会議、それに事務局や市の職員も含めて、5案くらい候補案をつくって、人気投票する方法もある。
会長	環境に対する思い入れは人それぞれで違いがあるし、言葉も受け取られ方に違いがある。候補案の方向性（意味）が同じでも、それを表現する言葉には人それぞれにまた別の思いがある、これまでの意見をうかがってそう感じたが、事務局の方で関係者からの意見を多数集めて、最終的にこの審議会で決定していく、そういう進め方でもよろしいだろうか。
部長	先程の関係者として市の職員とあったが…
委員	例えば、この計画に関連する事業をお持ちの部署から約2名ずつで20名程とか。多数決が一番よい方法ではないだろうが、どういう傾向なのかを掴むことができるし、そのときには職員のアイデアも必要になるのでは。それが協働にも繋がっていく。
会長	環境像は、計画の内容をよく知らなくても、こういう環境だったらよいとか、こういう環境にしたいとか、みなさんそれなりに考えをお持ちなのは。表現はわりと抽象的になるかもしれないが。
委員	関係者からの意見を多数から集めてということで、市民WG会議の意見も対象になるなら、ひとつお知らせしたいことが。先日の会議の場でも環境像は協議していて、そのときは候補案の付け足しや言葉の置き換えといった意見も多かったので、再度、環境像を問う場合には、この審議会の意見もしっかり伝えて、今一度白紙の状態、頭をクリアにした状態で考え直してもらえるように書き添えをしていただいた方がよい気がする。それともう一つ、何にもない真っさらの頭で考えるなら、こども達の考える10年後とか、自分が大人になった時の南砺市はこんな風であってほしいや、こんな風にしたいという思いを示す言葉を募集するとか。小学校の高学年に募集するのも一案かもしれない。こどもの感性で撮った写真や絵をみると、心を動かされることがあったりするので。公募して当選したら、商品や賞金をプレゼントしますというよりも、授業の一環みたいな感じで、言葉を寄せてもらう感じがよいのかなと思う。

6

発言者	内 容
会長	今のご意見をうかがうと、市民WG会議の方から、改めて意見を募集するのはちょっと控えた方がよいのではという感じがするが…
委員	そうですね。この資料（資料4 第4回市民WG会議で寄せられた意見）にもあるように、会議の場でここまでいろいろと言葉が出てきてしまっているので…
会長	環境審議会の問題にした方がよさそうかな。確かに市民WG会議の方にこれまで出された意見も参考にしつつ、他にも何か新しい案をやさしい表現で、どこにでもあるような言葉を使わず、南砺らしさを出せるものとなると、みなさんも大変難しいと感じられるかもしれませんね。
部長	そういうご意見もあるが、事務局としては、市民WG会議において、今一度、環境像に対する意見をうかがう機会を設けたいと考えている。環境像で示した方向性（意味）は合っていると思うので、用いる言葉をもう少し簡単に、南砺らしい言葉を使ったもので。
委員	行うなら、この審議会でこういう話になりましたよというものを差し戻して、再度話することは可能だと思う。ただ、何も無い状態でもういっぺん考えてくださいとなると、前回の会議の場で話した内容は何だったのかという意見が出てくる。
会長	今の意見も参考にして、事務局の方で今後の進め方を考えてほしい。いろいろと意見をいただいたが、この場で出てきた、南砺らしさを表した言葉として、「なんと気持ちいい里」、「緑の里」はあったが、他には。
委員	今ある候補案はいずれも最後を「なんと」で締めてあるが、「なんと」をもっと活かした表現にならないかという発想で提案したもので、言葉のキャッチボールの問題なのかなという。
会長	それに未来に続いていくようなイメージも加えて。
委員	総合計画の都市将来像とリンクすることも配慮してもらえれば。
会長	あれもこれも何でも盛り込んで短くとは、なかなか難しいことだとは思いますが…
委員	「南砺市まちづくり条例」の草案過程で経験したことだが、市民会議で出たものを策定委員会で検討してもう一度戻すというパターンの繰り返しで…、大体そんなやり方で練り上げられていた。ただ、今、公募で一般市民にまで対象範囲を広げてしまうと非常にたくさんの思いや考えが出てきてしまうこともあるので…、まずはこの審議会ですわらかい言葉とかいろいろな意見もあったので、市民WG会議でそこら辺りのことを踏まえて、もう一度検討できないかをお願いして、やりとりを進めてみるものいいのかなと思う。
委員	それから子ども達の見聞も聞いてみたい。授業の一環になると先生は大変かもしれないが、どこか1時間の授業で、子ども達にキーワードを書き留めてくれませんかをお願いするのも一つの手かもしれない。
会長	そういえば、昨年度の基礎調査報告書でこどものアンケート結果があったように思うが。

6

発言者	内 容
事[委]	南砺市の自然の中で一番大事なものは何ですかという設問での回答結果はある。山が4割ぐらいで、空が2割ぐらい。あとは1割未満で川、田んぼ、生きものといった回答が続いている。ただし、この結果は択一設問による回答なので、子どもが感じていることを自由記入してもらうような欄は設けてはいないが…
会長	ただ傾向はつかめそうなので、そういう結果を活かすというのもいいかもしれない。
委員	判断基準にはなる。
委員	私感だが、こどもは育つ環境が違えば、意見も全く異なるものが出てくる。例えば、山とか、街の中とか、田んぼの中とか。特に自然の多い所で育ったこどもの意見は素直なものが多いように思う。こどもの素直な感性から出た言葉がほしいということなら、参考までにそういう点も考慮してもらえれば…
委員	確かに。こどもの中には、例えばゲームを減らすことが環境にやさしいことだという子もいて、川をきれいにしたいとか、山を受け継ぎたいという自然を愛する素直な子もいて。今回の趣旨からいえば、こどもに意見を聞く対象も少し絞った方がよさそうに思う。例えば、教育センター（教育長）を通じて、環境教育に熱心な先生がいる学校に協力いただくとか。夏休み明けの9月早々にでも。やみくもに全校に聞いても、先生方も大変だし、意見集約も大変な作業になるし、授業の一環で環境教育を取り入れている土壌が既にある教室を対象にした方が、趣旨に沿うような意見や言葉が出てくるのではないかと思った。
委員	以前に市長を通じて市内の小中学校にお願いして、環境教育の方針や取組みを出してもらったことがあるが、考え方も取組みもバラバラで温度差があった。その中でも、特に熱心に取り組んでいたのが井口中学校と井口小学校だったように記憶している。一所懸命取り組んでいるかどうかは、校門にいけば大体分かる。花の植え方や草むしりの状況でね。
委員	消去法で考えていくと、上平や井口が取り組まれていると思う。
委員	上平小学校はなくなってしまうが、在校生は体育館を残してくれ、その周りで緑の活動をやりたいとお願いしているようだから、そういう意見も真剣に聞く必要があると思う。
委員	自然を活かした遊具を制作するPTA活動もあるようなので、参考までに。
委員	平地域の保育園では親御さんが一緒に植樹したり、利賀小学校では先生と一緒に。
会長	環境像の候補案を提示するまでの過程について、いろいろと意見を頂戴した訳だが、全てを実行できないかもしれないが、事務局でどういう方法なら行えるかも検討して、候補案を提示されたい。可能であれば、次回の審議会の前に委員のみなさんに候補案を提示して意見を集め、次回の審議会では、その報告と環境像をほぼ決定させるという流れで進めていければよいのだが。
事務局	こどもの意見を取り入れるかも含めて、事務局の方で環境像の候補案の再検討を進めていきたい。また、委員のみなさんからも、環境像に用いるフレーズやアイデアがあるようなら、ぜひお願いしたいと思う。

6

発言者	内 容
会長	今までの意見から取捨選択して、できる範囲で広く意見を募って、そこからまた絞るといふ、そういう流れでみなさんに了承いただきたいと思う。

(2) 基本目標に関する意見

発言者	内 容
会長	それでは、次の議事の「基本目標」について、ご意見をどうぞ。
委員	5つの基本目標を示した図がもっと分かりやすい形になればという気がする。代案は今すぐ思いつかないが、私の方でも一所懸命考えたいと思う。
委員	分野を横断する推進目標の「人・地域・しくみ」を示す赤い円だが、他の4つの目標の円とそれぞれが重なっているから横断的にみているという意味で示してあるのだろうが、円の表現だけだと横断しているイメージが掴みにくいように思う。かといってどんなイメージがよいのか、デザイン的によくわからないが…、例えば、他の4つの基本目標を串刺ししたような図の方が良いのか、横断的にみんなひっくるめて進めていくことが分かる形がほしい。
部長	この図では「健康・安全」の円が一番下の土台部分にあって、その上に他の3つの目標の円が重なって、最後に横断目標の「人・地域・しくみ」の円が全体に重なるようにしている。この図は、今は平面的に示しているが、これを何か立面化したデザインがほしいという意見をいただいた訳だが。
委員	団子の串刺しみたいなものにするか、5つのアドバルーンをあげる図にするか…
委員	ピラミッドにしたらどうか。デザインの問題だが。
事[委]	前回の審議会で報告した「基礎調査報告書」では、この5つのテーマを歯車にして、全ての歯車をかみ合わせることで、それぞれのテーマ（歯車）が独立したものではなくて、全てのテーマが連動しているイメージとした図を載せた訳だが、ある委員から地球環境にもあり、自然環境にもあるような重なる環境要素がたくさんあるので、それが分かるようなものがほしいといった話があって、そこからみなさんの話が盛り上がったということもあったので、このような重なりを強調させた図の方がよいのかと考えて、この図に修正した経緯がある。ただデザインの話には、いろいろと好みもあるので、作成過程でも悩んだところでもある。
委員	例えば床屋さんで螺旋が回っているような、そういうイメージもある。何がよいとはいわないが、全てが繋がっていて、順番に循環しているというか、廻っているイメージの方がよいのではないかと考えている。これが土台で、これがどうだとかいうよりも、上がったたり、下がったりしながらも、常に5つで繋がっているイメージとか。なんかそういうことでうまく考えてほしい。
会長	考え方を図で表現すること自体が難しいのでは。それこそ、図を入れない方法もある。先程の環境像もそうだが、みなさんが思うイメージはそれぞれ違うので。どうしても図化するなら、結論的にはどの欠点をみなさん方に我慢してもらおうかという話になるかとは思いますが。

6

発言者	内 容
委員	例えば、合掌造りの形にして、これは2階、これは3階でみんな一つの家の中に入っている。そうするとこどもでもわかる。南砺らしいし。あとはもみじの葉っぱの中で示すとか…
委員	難しいが、やはり絵は必要になってくる気がする。やはり、横断的な部分の「人・地域・しくみ」を大事にしていることを強調したイラストがほしい。
委員	物事を決めるときにこどもの話などを前に出した方がみんなは分かりやすいだろうし、将来的だしという話になるということも一理あるが、なかなか一概には言えないというか、今まで対応されてきた経緯もあるし、急がないでいろいろな方法を模索されればと思うが。
会長	基本目標の図に対する意見をいろいろといただいた訳だが、大事なのはこの下に整理される施策であって、その施策をいかに実現し、実行するかの話であって。基本目標の5つのテーマに異論がないようなら、図のことでいろいろと意見はいただいたが、適当な所で妥協いただいて、他にもよいアイデアがあれば、後から事務局にお寄せいただくことでよろしいか。
委員	先程の意見であった、南砺市の特徴である合掌造りの形、ちょうど三角形になる訳だから、そこらあたりをうまく利用した形の中で組み込んでみるのも…
委員	あるいは鉢があって花が5つ咲いていてもいいし。そこは事務局におまかせして。
事[委]	先程の環境像のところ、総合計画の「緑の里」と整合を合わせた方がよいとの意見もいただいたので、環境像に「緑の里」という言葉を入れることになれば、「緑」を形成する樹木をこちらの図のイメージとして使う方法も考えられる。樹木には、根っこ、幹、枝、葉があって、それを支える土壌もあるので、基本計画のイメージ図として整理しやすいのではと感じた。基本計画の図はできれば環境像の候補案と連動する形で再検討したいと考えている。
会長	では、基本目標の図のところはこれくらいにして。次に基本目標の内容と達成したときのイメージについて意見があればどうぞ。
事[委]	基本目標を達成したときのイメージは、上の色枠内にある基本目標の内容だけでは、かたい印象を受けるのではないかと感じて加えている。基本目標が段階的に達成されていく過程の中で徐々に現れていくイメージを、暮らしの場面などに置き換えたりして具体的に示したものとして整理させていただいた。
委員	基本目標の「健康・安全」の達成イメージで「住まいの周辺では、騒音や振動が少なくなり、小鳥のさえずりや木々のざわめき、小川のせせらぎが聞こえる等、静かで安らぎのある空間です。」とあるが、実は南砺市は水力発電の水車の里でもあるので、「水車」のことを一つ入れてもらえたらよい。例えば「水車が回る小川のせせらぎが聞こえる等」とか。そういう言葉が入っていれば、次の段階、例えば、エネルギーの推進といった時に水車という一つのイメージが出てくるので。
委員	基本目標の「自然共生」の達成イメージで、鳥獣被害対策の記述が目立つが、生物の多様性とか、絶滅危惧種の保全とか、自然が豊かなことをPRするイメージ

6

発言者	内 容
	をもっと加えた方がよい。
委員	基本目標の「健康・安全」と「自然共生」の達成イメージで、桜ヶ池や縄ヶ池といった固有名称が2回程出てくるが、市内には他にもたくさんため池があるし、レジャーでも利用されているので、同じ固有名称を複数回入れるくらいなら、違う所も入れた方がよいと思う。
委員	市内にはため池はいくつあるのか。70数個までは一度調べたことがあるが。そのうち、濁っているのは1割にも満たない。しっかり水の流れがあるからだと思うが、そういうことも強調した方がよい。
委員	訪れる人たちのニーズに応えられることも、達成イメージの中にもっと加えてもらえればよいと思う。
会長	事務局に質問したいが、計画期間は10年間なので、基本目標もその達成イメージも10年先の市内の状況を示した内容となっているのか。
事[委]	環境像の説明の中でも少し触れさせていただいたが、環境像は計画期間の終了後においても継続的に目指す、長期的な目標として掲げたものであって、基本目標はその環境像を実現させるために定めたものになる。このため、達成イメージも10年という枠に縛られるものではなくて、もっと長い期間をかけて達成を目指していくことを想定している。10年経てば、ここにある達成イメージが全て完全に実現されているという意味合いでは掲載していない。このイメージにより近づけるために施策を進めていく、そういう意味合いで達成イメージを整理させていただいた。
会長	今の話だと、達成したイメージの中には、10年先にはそれ自体が夢物語になる可能性のものも含まれていて、そういうイメージをここに載せるべきか少し疑問に思うところだが…、夢物語になるかもしれないが、載せた方が基本目標のイメージが伝わりやすいから載せるというのであれば…、みなさんの意見もうかがいたい。
委員	今の話をうかがっていて、一昨年、協働のまちづくりということで県外の視察に参加した時のことを思い出した。そこでは、まちづくりの基本目標が達成されたときの暮らしのイメージが図化されていた。
事[委]	達成の進み具合については、今後策定する計画素案の中で環境指標を盛り込むため、そこで計画の達成を数値的なものとして整理できるのではないかと考えている。ここの達成イメージは、基本目標の内容やこの後ろに続くさまざまな施策を進めていくことで、暮らしや環境がどのように変わっていくかをイメージしたもので、まずはここでイメージを掴んでもらってから、それに近づけるための具体的な施策を紹介していく、そういう構成で作成させてもらっている。
会長	ここに書かれている達成イメージを目指しましょう、という意味合いでの整理。
委員	逆に10年後の南砺市がどうなっているかの視点で整理すると、金、物、人を考え

6

発言者	内 容
	たときに、実際問題としてなかなか難しいことがいろいろあり過ぎて…、イメージとして柔らかい雰囲気を書くならいいとは思いますが…
委員	内容については、できるだけイメージが沸きやすいぐらいでいいと思うが。こうなりますと断定的になると、段々難しくなってくる。それと大事なことは、これは計画なので、計画としてしっかり押さえるべきことは押さえておく。一方で、概要版は、PR用として環境像とか、既に頑張っている人達を少し紹介すれば、もっと親近感が湧くだろうし。もっと頑張れば、10年後にはもっと素晴らしくなっていますよ的な内容を紹介すれば理解しやすい。計画と概要版は使い分けたいほうがよい。
会長	ここの部分は、計画素案でもこのまま掲載されるのか。
事[委]	はい。
委員	自然共生は南砺市の中でもメインの内容だから、もう少し具体的に示した内容があってもよいと思うが。
委員	南砺市には、他のところで絶滅したような、植物や動物がいるだろうし。それが南砺市の誇れるところだと思う。絶滅危惧種がこれだけ守られているところだっている。
委員	住んでいる人たちにそういう情報を提供してもらおうような、そういう機会をもっと増やしたらよいと思うが。
会長	基本目標の説明部分はそれなりに簡潔に書かれていると思うので、私はこれでよいと思うが、「低炭素・循環」や「快適・心の豊かさ」、「人・地域・しくみ」のところは、文章が長いので、少し短くした方がよいと思う。この基本目標が後ろの施策に繋がる訳だが、その前に南砺市の課題は何なのかということをはっきりしてから、施策につなげた方が分かりやすいと思う。
事[委]	それについては、次回提出する計画素案で現況の課題を含めて施策の整理をさせていただくこととしている。施策の大綱を示した見開きのページをご覧いただきたいが、例えば、施策目標の「1. 大気環境の保全」の右側に「P.**」と表記してあるが、この「P.**」は各施策目標のページの頭だしになっていて、そのページを開くと、施策目標毎に現況と課題、行動指標（環境指標）、具体的な施策を整理したものが出てくる構成としたい。そういう構成で計画素案を作成していく予定でいる。
会長	昨年度（前回）の審議会で提出された、大変分厚い「基礎調査報告書」があったかと思うが、あれをどのように活かしたのか、分かるような形で作ってもらえるようお願いしたい。
事[委]	「基礎調査報告書」は、こちらの施策の大綱にある「17の環境要素別の施策目標」毎にだいたい仕分けできるようになっているので、計画素案の現況と課題は「基礎調査報告書」の内容を簡略化しながら整理していくことにしている。

6

(3) 施策の大綱に関する意見

発言者	内 容
会長	<p>それでは、次の議題の「施策の大綱」について、皆さんのご意見いただきたい。まず、基本目標は5つあって、その基本目標をさらに環境要素別に分けた施策目標が定められている。例えば「健康・安全」の基本目標には、「大気環境の保全」や「水環境・水資源の保全」、「その他生活環境の保全」の施策目標があるといった具合に。その施策目標の下には、もっと細かくした施策がぶら下がる、そういう具合に施策の大綱が整理されている。こういう構成で計画が作られていくということだが、この流れでよいかどうか。また、「施策の大綱」の右側には、この計画のシンボリックな役割を果たす「リーディングプロジェクト」が4つ考案されていて、例えば1つ目の『コツコツはじめよう！エコの輪スマイルプロジェクト』だと、基本目標である「低炭素・循環」を中心に「自然共生」や「人・地域・しくみ」の関連施策からこのタイトルに関わりの深い施策をピックアップしたものを、同じように2つ目の『なんとの森づくりプロジェクト』では「自然共生」を中心に「人・地域・しくみ」の関連施策を、3つ目の『エコの学び場、むすび場拡大プロジェクト』では「人・地域・しくみ」を中心に「快適・心の豊かさ」の関連施策を、4つ目の『我がまちLOVE・協働による住みよさ倍増プロジェクト』では「人・地域・しくみ」を中心に「快適・心の豊かさ」や「自然共生」の関連施策をそれぞれ抜き出すことになっている。もちろん、このリーディングプロジェクトに抜き出された事業や施策以外のものも、それはそれで段階的に実施されていく形になるそうだが。この内容について何かご意見があればどうぞ。</p>
委員	<p>基本目標の「人・地域・しくみ」にある「16. 環境と経済社会の好循環の推進」では、事業活動や消費活動の促進が書いてあるが、水利権を持っている土地改良区や森林を管理している森林組合の役割がよくみえてこないように感じる。これから、再生可能なエネルギー、例えば、小水力なり、間伐材なりをするにしても、そういう団体の協力が不可欠な訳だから、そういう団体の役割もきちんと明記しておくべきだと思う。</p>
事[委]	<p>今のご意見に対しては、「17. 広域的な連携・協力体制の強化」で整理したいと考えている。ただ、今は「17-1 砺波広域圏内の連携・交流の促進」や「17-2 富山県内の自治体との連携・交流の促進」としているので、「関連組合・団体」といった名称も含め、役割が分かるように書きぶりを改めさせていただきたい。</p>
委員	<p>私としては「16-5. 産学官連携による環境技術開発の推進」にある施策を、ぜひ「リーディングプロジェクト」に引っ張り出してほしいなという気がする。というのは、これまでの南砺市の状況をみていると、ほとんどこれが出来ていないから。その前に連携の場がない。ここにある産学官連携をもっと出さなければ、次の段階につながる施策の推進もできないんじゃないかな。だから、「リーディングプロジェクト」に産学官連携の施策を入れてほしい。</p>
委員	<p>縦割り行政だね。我々が目指す、常に横に繋がるような活動に見直さないといけない。お金の絡みや色んな絡みがあって縦に繋がっているところを、横にも繋がるようにしていかないと。特に環境分野ではそれがないとこれから大変なことになると思う。</p>

6

発言者	内 容
委員	<p>県内をみると、富山市や高岡市、射水市では大学を持っており、色んな形で「学」と繋がれる。でも、南砺市には何もないので繋がりも持てない。失礼な言い方かもしれないが、まず、行政自身が繋がってないから、その経由で繋がることもできない。今、市内で色んな活動をしてみたいと思っている方が、大学の新しい技術や情報を取ってこれられないという問題がある。だから、ここのリーディングに引っ張り出してほしい。</p>
会長	<p>最近では、大学でも産学共同を積極的に進めているし、県立大学でも産学共同の場がある。窓口は教員ではないが、専任の方が在籍しているので、そういうところに積極的に声をかけていただければよろしいかと思う。</p>
委員	<p>大学のコーディネータの方と個人的に繋がりを持っておられる方はいらっしゃると思うが、それに行政を加えようとするとうんざりする。だから、私は、むしろ南砺市にはそれが一番大事なことで思っていて、特に教育問題も含めて。南砺市には高等教育がないので、これを何とか引っ張ってこないかという思いがある。新しいことを実際に始めようとする、いろいろな形で産学官が関係してくる。でも、今の南砺市ではその関係がつかれない。</p>
会長	<p>今の産学官のところは大切なことではあるが、リーディングプロジェクトとするのは、現実の面からみて実際に可能なのか、見込めそうな具体的な提案を事務局の方でお持ちか。</p>
事[委]	<p>リーディングプロジェクトには前提条件が設けてあって、骨子案の20ページの「位置づけとねらい」で記載している。このプロジェクトは、①本市で初めて策定する環境基本計画であること、②上位計画である総合計画の計画期間が平成28年度ということ踏まえ、本計画の基礎固めの期間の25年度から28年度の4年間を想定して施策の抽出する、そういう前提条件で抜き出そうと考えている。また、抽出の際のポイントとしては、①市民や事業者の関心が高く、市としても重要度が高い取り組みであること、②南砺市らしさを活かせるものであること、③波及的効果が大いものであることを挙げている。したがって、今回定めるリーディングプロジェクトは、基礎固めの期間内で総合計画や諸々の計画との整合を図った上で抽出させていただくつもりだ。ただ、計画期間自体は平成34年度までなので、基礎固めの期間に諸事情で実施できないものについては、中間目標年度の平成29年度の見直し時に足りない分は補い、見直していく、そういう形で整理していければと考えている。</p>
委員	<p>最近、私も幾つか参加しているが、東京の大学生がゼミごとドーンときて、いろいろな取り組みを5年や7年かけて進めている。例えば、学生達には、南砺市の地元の人達と共同のプロジェクトを組んだら授業の単位を3単位出すとかして進めるので、統率がとれている。そういうので、潰れた畑の石積み作業を黙々とすると単位がもらえる。そういう事例が幾つも出てきている。そういうのが南砺市ならではというか、特に中山間地の条件の悪い所程、逆にそういう可能性がある。かつての草刈十字軍みたいな形で、特定大学の特定ゼミの先生の協力下でやっているようなこと。それにもう少し行政が連携していけば、随分景色が変わってくるような気がする。他ではそういうことはないかもしれないが、南砺市にはそれ</p>

6	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="268 210 379 259">発言者</th> <th data-bbox="379 210 1412 259">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="268 259 379 421"></td> <td data-bbox="379 259 1412 421"> <p>だけのフィールドが、問題をいっぱい抱えている場所があるということで。実際にはもう進んでいるので、そういう取組みを応援するようなことがあってもいいのかなと思う。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="268 421 379 533">委員</td> <td data-bbox="379 421 1412 533"> <p>そういうことからいっても、「16-5. 産学官連携による環境技術開発の推進」に産学官もしくは「学」のサプライズを1つ、行政の方をお願いしたい。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="268 533 379 600">委員</td> <td data-bbox="379 533 1412 600"> <p>あると違うね。ちょうど交流協会みたいな存在でね。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="268 600 379 801">委員</td> <td data-bbox="379 600 1412 801"> <p>そこを経由すれば、例えば大学のコーディネータが入る時にもやりやすい。例えば、県立大学では、先生と直接やり取りをさせませんから。必ずコーディネータ経由になっている。そういう面でも、行政にもそういう機関を設けてほしい。この後の全部に響く話として。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="268 801 379 898">会長</td> <td data-bbox="379 801 1412 898"> <p>他にご意見はないか。ないようであれば、次の議事であるその他について、何かご意見があればどうぞ。</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) その他に関する意見</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="268 994 379 1043">発言者</th> <th data-bbox="379 994 1412 1043">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="268 1043 379 1384">委員</td> <td data-bbox="379 1043 1412 1384"> <p>骨子案ではないが、資料2の1ページ、「1. 持続可能な社会に向けた世界・国内・県内の動き (1)世界の潮流」に2003年に京都で開催された「世界水フォーラム」を入れてほしい。水資源に恵まれている南砺市だからこそ、水のことをしっかりやっていることを示す意味でも。私が環境問題に取り組み始めたきっかけは「世界水フォーラム」になるが、そこで「もったいない」という言葉とか、いろいろな環境問題が出てきて、世界はこんなに水が足りてないのかと。ところが、南砺市では「水」を全然気にしていない。でも、今後は大きな問題になってくると思う。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="268 1384 379 1518">会長</td> <td data-bbox="379 1384 1412 1518"> <p>他に意見はないようなので、終わりにしたい。本日、皆さんからたくさん意見をいただいたが、事務局は検討して反映できるところは次の計画素案に反映していく形で進めてほしい。では、進行を事務局にお返しする。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	発言者	内 容		<p>だけのフィールドが、問題をいっぱい抱えている場所があるということで。実際にはもう進んでいるので、そういう取組みを応援するようなことがあってもいいのかなと思う。</p>	委員	<p>そういうことからいっても、「16-5. 産学官連携による環境技術開発の推進」に産学官もしくは「学」のサプライズを1つ、行政の方をお願いしたい。</p>	委員	<p>あると違うね。ちょうど交流協会みたいな存在でね。</p>	委員	<p>そこを経由すれば、例えば大学のコーディネータが入る時にもやりやすい。例えば、県立大学では、先生と直接やり取りをさせませんから。必ずコーディネータ経由になっている。そういう面でも、行政にもそういう機関を設けてほしい。この後の全部に響く話として。</p>	会長	<p>他にご意見はないか。ないようであれば、次の議事であるその他について、何かご意見があればどうぞ。</p>	発言者	内 容	委員	<p>骨子案ではないが、資料2の1ページ、「1. 持続可能な社会に向けた世界・国内・県内の動き (1)世界の潮流」に2003年に京都で開催された「世界水フォーラム」を入れてほしい。水資源に恵まれている南砺市だからこそ、水のことをしっかりやっていることを示す意味でも。私が環境問題に取り組み始めたきっかけは「世界水フォーラム」になるが、そこで「もったいない」という言葉とか、いろいろな環境問題が出てきて、世界はこんなに水が足りてないのかと。ところが、南砺市では「水」を全然気にしていない。でも、今後は大きな問題になってくると思う。</p>	会長	<p>他に意見はないようなので、終わりにしたい。本日、皆さんからたくさん意見をいただいたが、事務局は検討して反映できるところは次の計画素案に反映していく形で進めてほしい。では、進行を事務局にお返しする。</p>
発言者	内 容																		
	<p>だけのフィールドが、問題をいっぱい抱えている場所があるということで。実際にはもう進んでいるので、そういう取組みを応援するようなことがあってもいいのかなと思う。</p>																		
委員	<p>そういうことからいっても、「16-5. 産学官連携による環境技術開発の推進」に産学官もしくは「学」のサプライズを1つ、行政の方をお願いしたい。</p>																		
委員	<p>あると違うね。ちょうど交流協会みたいな存在でね。</p>																		
委員	<p>そこを経由すれば、例えば大学のコーディネータが入る時にもやりやすい。例えば、県立大学では、先生と直接やり取りをさせませんから。必ずコーディネータ経由になっている。そういう面でも、行政にもそういう機関を設けてほしい。この後の全部に響く話として。</p>																		
会長	<p>他にご意見はないか。ないようであれば、次の議事であるその他について、何かご意見があればどうぞ。</p>																		
発言者	内 容																		
委員	<p>骨子案ではないが、資料2の1ページ、「1. 持続可能な社会に向けた世界・国内・県内の動き (1)世界の潮流」に2003年に京都で開催された「世界水フォーラム」を入れてほしい。水資源に恵まれている南砺市だからこそ、水のことをしっかりやっていることを示す意味でも。私が環境問題に取り組み始めたきっかけは「世界水フォーラム」になるが、そこで「もったいない」という言葉とか、いろいろな環境問題が出てきて、世界はこんなに水が足りてないのかと。ところが、南砺市では「水」を全然気にしていない。でも、今後は大きな問題になってくると思う。</p>																		
会長	<p>他に意見はないようなので、終わりにしたい。本日、皆さんからたくさん意見をいただいたが、事務局は検討して反映できるところは次の計画素案に反映していく形で進めてほしい。では、進行を事務局にお返しする。</p>																		
7	<p>7. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務局から委員への連絡事項は、以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> (1)本日の審議内容以外のお気づきの点または意見等がある場合には、配布した意見書（様式）に内容を記載の上で、8月24日までに事務局に送付いただくことをお願いした。 (2)本日午後から行う市内視察に参加を予定している委員に対し、集合時間等を連絡した。 																		
8	<p>8. 閉会</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務局から閉会の挨拶を行い、第3回環境審議会を終了した。 <p style="text-align: right;">以上</p>																		